

# ミサイル防衛

発射前

第一段階  
打ち上げ

第二段階  
飛行中

第三段階  
落下中

フェーズ  
高度  
速度  
—

ブースト  
0→  
7km/秒

ミッドコース  
1200KM等宇宙  
射程1,500km 4km /秒

ターミナル  
100km→0  
2km/秒  
7km/秒



# PAC3 (パトリオット)

- ・ 配備：首都圏：防衛省、朝霞、習志野。
- ・ 沖縄本島2カ所、宮古島、石垣島
- ・ 20 - 35kmの範囲を防御
- ・ 常識で考えて見よう

野球 150km/時→2.5km/分→42m/秒

サッカー(初速)→30m/秒

ミサイル→2000m/秒、7000m/秒

マウンドーベース→18m      ミサイル100分の1秒

サッカーペナルティー→11m      200分の1秒

野球・サッカーボールの20倍の速度

これで東京全土、日本全土をどうして防衛できる

## テポドン

北朝鮮当局は「テポドン」という呼称は使っていない。最近の事例では「銀河」という名称を使った。

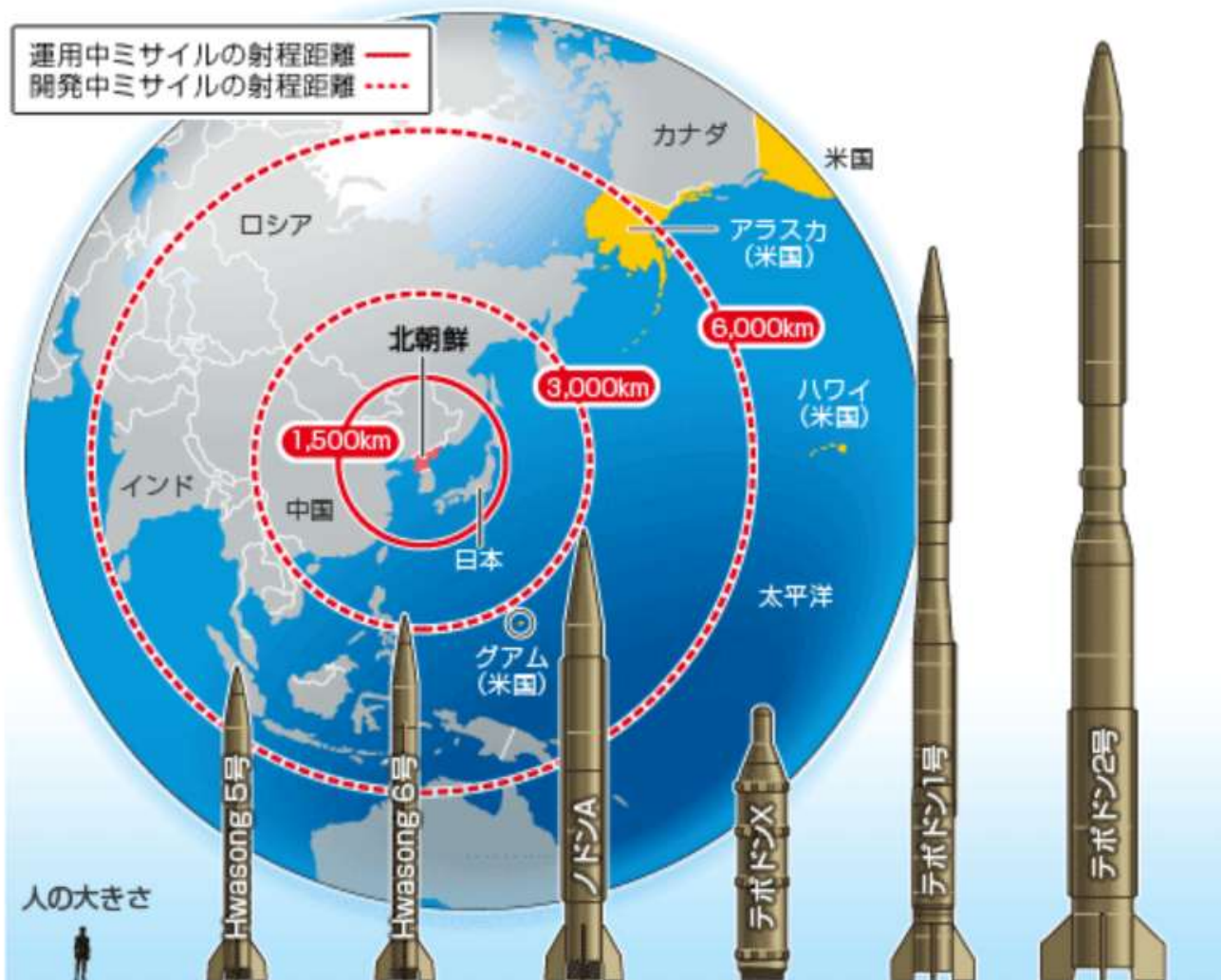
### 「銀河」 ロケット

- 弾頭  
700～1,000  
キログラム
- 有効積載量  
100キログラム
- 高さ  
32メートル
- 製造国  
北朝鮮
- 段数  
2～3



## 北朝鮮による過去のミサイル発射実験





弾頭重量(kg)	987-1,000	750-989	760-1,158	950-1,000	290-1,000	700-1,000
射程距離(km)	287-330	300-700	1,350-1,500	3,000-4,000	2,200-2,896	3,500-7,000
全長(m)	約11	約11-12	約16	9	25	32
製造国	ロシア	ロシア	北朝鮮	ロシア	北朝鮮	北朝鮮
構造	1段式ロケット	1段式ロケット	1段式ロケット	1段式ロケット	2段式ロケット	2-3段式ロケット

出典：Federation of American Scientists, Global Security,  
Center for Nonproliferation Studies

\*データは2009年6月現在のもの



# 北朝鮮のミサイル

長距離 — テポドン

中距離 — ノドン (1,000~1,300km)

配備数は150-320基

中国のDF21・中距離弾道弾中、日本射程の  
東北地方配備は24基

チャールズ・カートマン米国北朝鮮交渉大使  
「テポドン、テポドンと騒ぐが、日本向けには  
ノドンが配備。これにどうするのだ。発射時も  
わからない。」

# 北朝鮮政策の根幹は何か

第一に北朝鮮が日本に武力攻撃をしないこと

第二に、特に北朝鮮に核開発を行わせないこと

- ・「何十年も核の脅威と向き合ってきた北朝鮮が、機会があれば『抑止力』を開発しようとするのは驚くことではない」(ガヴァン・マコーマック著『北朝鮮をどう考えるのか』)
- ・ヘンリー・キッシンジャー著『核兵器と外交政策』
- ・「核兵器を有する国はそれを用いずして全面降伏を受け入れることはない、一方でその生存が直接脅かされていると信ずるとき以外は、戦争の危険を冒す国もない」
- ・「無条件降伏を求めないことを明らかにし、どんな紛争も国家の生存の問題を含まない枠を作ることが米国外交の仕事」

対北朝鮮政策：政権の崩壊を求めない事

韓国与党(ハンナラ)選挙不利中、北との緊張プラス